

(8) ロ ジ ス テ ィ ク ス

⑯ ロジスティクス管理

⑰ ロジスティクスオペレーション

ロジスティクス管理における訓練カリキュラム設定のガイドライン

(1) 訓練科名	ロジスティクス管理科
(2) 想定される受講希望者	事務系職務を希望する者であって、当該科の知識を有さない者。
(3) 訓練終了後の関連職種	生産現場、出荷・受荷部門における事務業務
(4) 訓練カリキュラム	OJTは、ジョブ・カード評価シート(様式6)(厚生労働省ホームページ参照)の「Ⅲ技能・技術に関する能力(2)専門的事項」の能力ユニット「在庫管理、物流システム・コスト管理、物流情報システム」に関する補助業務を科目として設定。

※1) 教科及び訓練時間の設定

当該訓練カリキュラムは、有期実習型訓練の訓練基準を満たし、訓練期間6ヶ月、総訓練時間425時間の職業訓練を実施することを前提に事例として設定したものであり、OJTの職務やOff-JTの実施環境に応じて、企業が「職務又は教科の内容」、「時間」等を追加、修正し、弾力的な設定が可能であること。

※2) 訓練修了後の自己啓発目標

実務経験の後、ビジネス・キャリア検定試験「ロジスティクス管理3級」に合格することを目標とする。

※3) 参考テキスト: ビジネス・キャリア検定試験標準テキスト「ロジスティクス管理3級」

ロジスティクス管理科訓練カリキュラム

平成21年3月作成

訓練科名(コース名)	ロジスティクス管理科	訓練修了後の関連職種	生産現場業務、出荷・受荷係業務				
訓練目標	企業人としてのビジネススキルを身につけたうえ、輸送・保管・荷役等の物流管理の基本的事項を理解し、ロジスティクス管理に関する企画及び推進に関する事務処理を正確に行う業務遂行能力を習得する。						
仕上がり像	物流管理、在庫管理や物流情報システム運用を理解し、物流管理に係る補助業務を円滑に遂行できる。						
有期実習型訓練の内容	職務名又は教科名		職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考	
	実習 (OJT)	物流管理実習	在庫管理、物流システム管理、コスト管理(グループ実習による物流管理)	300	/		
		物流情報システム運用実習	物流システム運用・管理	40			
	実習(OJT)計 340.0時間						
	座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、グループディスカッション、キャリア形成、キャリアコンサルティング(自己理解、自己評価)、ビジネスマナー、電話対応、顧客対応(挨拶、身だしなみ、態度、言葉遣い、CS(Customer Satisfaction))、PDCAの理解、企業活動(事業領域、組織、経営理念、社是等)の理解、コンプライアンス	12		
			物流管理基礎	物流管理基礎、物流サービス管理基礎	6		
			在庫・システム・コスト管理	在庫管理基礎、物流システム管理基礎、物流コスト管理基礎	6		
			関係法規	労務・調達関連法規、道路交通関連法規、運輸・倉庫関連法規、環境等関連法規	6		
			安全衛生	VDT(Visual Display Terminals)作業と安全衛生	1		
			能力評価	オリエンテーション、能力評価(企業評価、自己評価)	10		
			学科計 41.0時間				
	実技	実技	パソコン基本実習	コンピュータの起動と終了、アプリケーションの起動と終了、基本ツールの操作、ファイルの操作、動作環境の設定	4		
			文書及び表計算作成	オフィスアプリケーションを活用したビジネス文書作成、データ整理、集計、分析	18		
			在庫管理・物流コスト管理実習	ケーススタディによる在庫分析と物流コスト計算演習、評価	18		
			物流情報システム基本	物流情報システムを使った情報処理実習基礎	4		
実技計 44.0時間							
座学等(Off-JT)計 85.0時間							
有期実習型訓練合計 425.0時間							
主要な設備機器、教材	パソコン一式(プリンタ含む)、プロジェクター、白板、市販物流情報システムソフトウェア			Off-JTで使用するものは、下線()で示す。OJT及びOff-JTの両方で使用するものは、(*)を付す。			

ロジスティクス・オペレーションにおける訓練カリキュラム設定のガイドライン

(1) 訓練科名	ロジスティクス・オペレーション科
(2) 想定される受講希望者	事務系職務を希望する者であって、当該科の知識を有さない者。
(3) 訓練終了後の関連職種	生産現場、出荷・受荷部門における事務業務
(4) 訓練カリキュラム	OJTは、ジョブ・カード評価シート(様式6)(厚生労働省ホームページ参照)の「Ⅲ技能・技術に関する能力(2)専門的事項」の能力ユニット「輸送包装、荷役、保管、配送、コスト管理、輸送」に関する補助業務を科目として設定。

※1) 教科及び訓練時間の設定

当該訓練カリキュラムは、有期実習型訓練の訓練基準を満たし、訓練期間6ヶ月、総訓練時間425時間の職業訓練を実施することを前提に事例として設定したものであり、OJTの職務やOff-JTの実施環境に応じて、企業が「職務又は教科の内容」、「時間」等を追加、修正し、弾力的な設定が可能であること。

※2) 訓練修了後の自己啓発目標

実務経験の後、ビジネス・キャリア検定試験「ロジスティクス・オペレーション3級」に合格することを目標とする。

※3) 参考テキスト: ビジネス・キャリア検定試験標準テキスト「ロジスティクス・オペレーション3級」

ロジスティクス・オペレーション科訓練カリキュラム

平成21年3月作成

訓練科名(コース名)	ロジスティクス・オペレーション科	訓練修了後の関連職種	生産現場業務、出荷・受荷係業務			
訓練目標	企業人としてのビジネススキルを身につけたうえ、ロジスティックにおける輸送・保管・荷役等の物流管理の基本的事項を理解し、輸配送に関する事務処理を正確に行う業務遂行能力を習得する。					
仕上がり像	輸送に関する制度や包装等に関する物流における包装設計等を理解し、物流に係る補助業務を円滑に遂行できる。					
有期実習型訓練の内容 (Off-JT)	職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考	
	(OJT) 実習	輸送・包装・荷役・保管実習	輸送包装、荷役、保管、配送、コスト管理(グループ実習による輸送管理)	340	/	
	実習(OJT)計 340.0時間					
	座学等 (Off-JT)	職業能力基礎講習	コミュニケーション、グループディスカッション、キャリア形成、キャリアコンサルティング(自己理解、自己評価)、ビジネスマナー、電話対応、顧客対応(挨拶、身だしなみ、態度、言葉遣い、CS(Customer Satisfaction))、PDCAの理解、企業活動(事業領域、組織、経営理念、社是等)の理解、コンプライアンス	12		
	学科	輸送・包装・荷役基礎	包装、ユニットロードシステム、荷役、保管、各種機器	6		
		輸送基礎	輸送概論、輸配送システム、関連法規	5		
		安全衛生	VDT(Visual Display Terminals)作業と安全衛生	1		
		能力評価	オリエンテーション、能力評価(企業評価、自己評価)	10		
	学科計 34.0時間					
	実技	パソコン基本実習	コンピュータの起動と終了、アプリケーションの起動と終了、基本ツールの操作、ファイルの操作、動作環境の設定	3		
		文書及び表計算作成	オフィスアプリケーションを活用したビジネス文書作成、データ整理、集計、分析	18		
		輸送包装基本実習	各種包装材料、容器を使った包装技術、課題設定による保管コスト計算と保管機器	24		
		輸配送システム基本	輸配送システムを使った情報処理実習基礎	6		
	実技計 51.0時間					
	座学等(Off-JT)計 85.0時間					
有期実習型訓練合計 425.0時間						
主要な設備機器、教材	パソコン一式(プリンタ含む)、プロジェクター、白板		Off-JTで使用するものは、下線()で示す。OJT及びOff-JTの両方で使用するものは、(*)を付す。			